

吉川地区市政懇談会 議事録

- 1 日 時 令和元年9月21日
午後7時30分～9時30分
- 2 場 所 山田錦の館研修室
- 3 参加者 吉川地区 83人
市 25人（市長、副市長、副市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、産業振興部長、都市整備部長、上下水道部長、議会事務局長、消防長、教育総務部長、教育振興部長、企画政策課長、生活環境課長、健康増進課長、商工振興課長、都市政策課長、交通政策課長、市民生活課長、地域振興課長、学校教育課長、学校教育課副課長）
オブザーバー 3人
傍聴者 0人

4 内 容

(1) 地区からの意見・提言及び市からの回答

別紙のとおり

(2) 意見交換

ア 山田錦の館及び吉川支所周辺の整備について

【吉川地区】

吉川支所周辺は、山田錦の館や吉川町公民館、吉川体育館などがあり、吉川地区の中でも最もにぎわいのある場所である。ついては、老朽化の進む公民館や体育館等を取り壊し、目に見えた吉川地区への投資として、新しく作り変えることはできないか。

【市 長】

少子高齢化による人口減少や財政状況等から、人口規模にあった施設量に見直すといった公共施設再配置計画を検討している。なお、広報みきに10月号から公共施設の見直しに関する特集を予定しており、ご覧いただければ幸いである。

【総務部長】

市内 2 1 1 か所の公共施設を今後どのように管理していくのかという計画を現在まとめている。今年度末には一定の方針案という形で皆様にお示しする予定である。その上で、区長協議会やまちづくり協議会等からご意見をいただき、今後吉川のまちをどのように作り上げていくか、将来のあり方について市も協働して検討を重ねていきたいと考える。

イ 県所有未利用地の管理と活用等について

【吉川地区】

狩猟者育成センター事業については地区としても前向きな姿勢で協力したいと考えている。開発区域以外の 7 7 ha の県有地については、木が茂り農家の水田が影になっている場所があるため、また地区から地域振興課へ申し入れさせていただく。

【吉川地区】

都市計画マスタープランに吉川支所から県有地を通して隣接する三田市へ行く南北の道路軸の記載があるが、道路計画には含まれているのか。

【都市整備部長】

具体的な道路計画は聞いていない。ただし、県にはその要望を伝えているほか、もし市が事業を進める場合は、現在取り組んでいる稲田中央線の整備完了後に取り組む事業案の一つとして検討する。

【吉川地区】

三田市からの都市計画道路が産業団地を経由し吉川支所につながる計画は頓挫したのか。

【副市長】

産業団地の計画に県道広野永福線に抜ける道路が計画されていたことについては認識している。今回の狩猟者育成センターの計画を進める際、当該道路計画が過去にあったことを踏まえ、地域のご意見をお聞きし、事業の中で道路に関してできることはあるか検討してほしいという旨は県に申し伝えている。県も現在細かい設計を進めており、その中で地域に隣接する市道の活用についても検討していただいている状況であるが、三田市とつながる道路計画について現時点

では予定はない。ただ、今後も構想はないというわけではなく、残された土地でできることについて構想を持つことは可能である。

【吉川地区】

20年、30年先を見据えた検討をお願いしたい。

【市長】

狩猟者育成センターの計画等について、今後も地域の皆様のご理解をいただきながら進めていきたい。

ウ （県）市道路整備及び管理等について

【吉川地区】

代替となる旧道がある場所については歩道整備が後回しとなるとのことだが、吉川地区内の交通量が増加しており、バス停もあることから、道路の路肩に高さの差があり、歩きにくい場所等危険な箇所を認知した上で県に要望してほしい。

【都市整備部長】

確かに、舗装と路肩に差があれば、歩いていると足を取られ歩きにくいことがある。地域から意見があった旨は県にしっかり伝える。

【吉川地区】

市道毘沙門上荒川線の昔に作られた中国道下のボックスのみ、通学路であるのに歩道がなく、現在の交通量は想定外の多さで危険である。交通量から主要道路と認識しているが、市はどのように考えているのか。一度ネクスコ西日本と協議等してほしい。

【都市整備部長】

ネクスコ西日本とは協議をする。だが道路拡幅にかかる経費や、高速道路の一般車両を通行させながらの大がかりな工事になることを鑑みると早期には難しい。まずは現状把握に努めるほか、通学路の路肩のグリーン舗装等、ドライバーに視覚的に注意を促すことも考えたい。

【副市長】

地域の思いは重々承知しているが、今すぐ工事を行うという域に達していないことはご理解いただきたい。都市計画に

は含まれていないが構想の検討は進めるほか、こうしたいという思いを持ち続け機会を見計らい実施するなど、地域と共に考えていきたい。

【吉川地区】

歩道整備やボックス拡張等は経費と時間がかかることは理解している。吉川地域の道路構想として、毘沙門上荒川線を道路軸として位置づけ、計画の検討を進めていただきたい。そのうえで今できる対策は進めていただき、歩道部のカラー舗装についてはぜひお願いしたい。

エ 吉川インターバス停付近の違法駐車対策について

【吉川地区】

駐車場の拡張について前向きに検討すると記載があるが、具体的にどのように検討を進めているのか。

【都市整備部長】

旧吉川町時代は借地をし広い駐車場だったと認識している。駐車場拡張にかかる土地の買収については相手がいることから確約はできないが、土地の地権者にご協力いただければ計画を進める。

オ 総合的な教育・学習支援について

【吉川地区】

道路の危険な箇所に設置する”とびだし坊や”が老朽化しボロボロになっている。学校の校務員が手づくりで補修しているところもある。直す予定があるなら新しく設置してほしい。無くすなら壊れたものを撤去してほしい。

【教育振興部長】

おそらくPTAが設置したものと考えられるため、市や学校が勝手に改修又は撤去することは難しい。学校を通じてPTAにお声掛けした上で対応することになる。

【吉川地区】

看板には交通安全対策協議会の名前が記載されている。

【教育振興部長】

調査の上、対策を検討し回答する。

【教育総務部長】

“とびだし坊や”は台風で飛ぶなどして危険であるほか、道路の占用許可も必要なため、あまり設置しない方向性になっているのが現状である。それを踏まえた上で検討していく。

【吉川地区】

学校再編し1クラスの人数が多くなることで、教諭の目が行き届かなくなるのではないかと学業への影響を懸念する保護者が多い。吉川地区から近隣の三田市や神戸市等へ出て行ってしまう要因も学校にあるのではないか。教育を充実させることで若年層の流出に歯止めをかけることはできないか。特定の学校に通わせたいという思いから引っ越しに繋がる事例もある。教育の充実に最大限の努力をお願いしたい。また、通学路については、子どもの安全や近隣住民に迷惑がかからないことを重視し、経費にこだわらず検討を進め改善してもらいたい。

【教育長】

学校再編については、昨年から1年あまりをかけて保護者や地域の皆様のご意見をお聞きしながら検討を進め、やっと方針が定まってきた。その中で、吉川地区に関しては、まずは統合である程度の児童数を確保し、小規模校の良さを生かしながら教育を進めたい。また、教育委員会では魅力ある教育環境づくりとして、小中一貫教育の計画を進めている。9年間の学びの中で豊かに育っていく環境をめざしており、移住してでも入学してくれるような学校づくりをしたい。今後ともご協力を賜りたい。

カ その他

【吉川地区】

生活保護の審査が易しいのではないか。市としては難しいのかもしれないが、経費の削減にも繋がるので取り組んではどうか。また、今回いただいた回答の中に「新総合計画は作成して終わるのではなく、市政の羅針盤として着実に実行していくとともに、計画的に検証しながら進めていく」「庁内において事業ごとの評価を実施し、結果については公表する」と記載があるが、ぜひよろしくお願いしたい。「誇りをもって暮らせるまち三木」のため、行政と市民、議会、企業、

団体等が一緒になって進めていってほしい。

豊岡市はコウノトリ育成のため約60年前から先を見据えた活動をし、50年かけてコウノトリのブランドを築き上げた。吉川町商工会では現在魅力あるまちづくりのため、地域資源ブランドの一環としてホテル復活プロジェクトを進めている。昔のように、あちらこちらでホテルが飛んでいるようなまちにしたい。市も考えてほしい。

【市 長】

ホテルについては商工会とともにご相談いただければと思う。

高校の通学区域については、平成24年に吉川町のPTAの方から署名をいただき、県の教育委員会へ提出した。今後どうなるか分かりかねるが、吉川地区の方の三田の学校に行きたいといった思いは強く感じているため、県にも要望していきたい。

また、河川改修について、県としては下流から改修しなければ上流の流れが速くなった際に氾濫する恐れがあるため、県の河川整備計画では美囊川と志染川の合流点までの整備を予定している。ただし、突発的な豪雨等を危惧し、県内でも家の多いところや人が多く住んでいるところは早めの改修が望ましいため、現在は渡瀬の改修に取り組んでいる。吉川地区でも、大きな改修はできなくとも鍛冶屋や稲田のあたりは整備されている。温かい目で見守ってもらうとともに、ご要望等ある際は市にご連絡いただければ県に申し伝える。

公共施設等に関しJAと協議をおこなってもらいたいという意見については、人口減少が進む中、施設のあり方も慎重に検討していく必要があるが、例えば地元住民の中でJAをこう使いたい等の要望があれば市も一緒に検討を進めていきたい。スーパーや小売店に関しても同様に、例えば地域で使うのでこの商品は置いてほしい等の既存店舗への要望があれば、定例の区長会やまちづくり協議会等で協議していただくとともに、公民館や担当課の職員も参加させていただき共に考えていきたい。